



憂いなき未来のために。

第25期 報告書 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)

トップメッセージ

憂いのない希望と安心に満ちた明日を迎えるために アイロムグループはあらゆる可能性を追求し続けます

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスにより影響を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

当社グループは2022年4月9日に創立25周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆さまのご支援の賜物でございます。

1997年の創業以来、一貫して新しい医薬品・医療技術の開発の様々なプロセスに寄与し、各事業において日々変革と革新に取り組み続けてまいりました。中核であるSMO事業では、医薬品の開発動向の変化やグローバル化に対応したCRC（治験コーディネーター）の育成と提携医療機関の拡大を促進し、全国の治験実施医療機関を支援するための体制構築を推進しています。CRO事業では、海外事業を本格化させるとともに、国内事業においても統計解析分野の強みを活かした総合的な医薬品開発の支援体制の構築を進めています。先端医療事業においては、基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた先端医療の実用化を推進するとともに、より多くの

人がより身近に最先端の技術を利用することができるよう、先端医療技術を応用した新たな製品の研究・開発・製造に取り組んでいます。メディカルサポート事業においては、クリニックモールの運営により、より良い医療環境の提供に取り組むとともに、グループ各社の施設整備支援により各事業の推進・拡大を進めています。

2023年3月期においては、次の25年に向けてブランドプロミスおよびブランドシンボルを刷新いたしました。憂いなく全ての人々が健康であり続けることによる持続可能な社会の実現を目指し、グループ各社・各事業間のシナジーにより生み出される総合力を強みに事業のサステナビリティの向上を図り、医療の発展へのさらなる貢献と、それを通じた人々の健康と生活の質の向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 森 豊隆

New Corporate Identity

憂いなき未来のために。



I'ROM GROUP

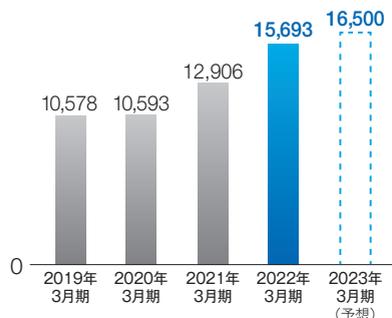
決算ハイライト



- ☑ SMO事業、CRO事業の伸長により、過去最高の売上高と各利益を更新
- ☑ 創立25周年の記念配当を実施[中間:普通配当20円、期末:普通配当20円、記念配当5円の計45円(配当性向28%)]

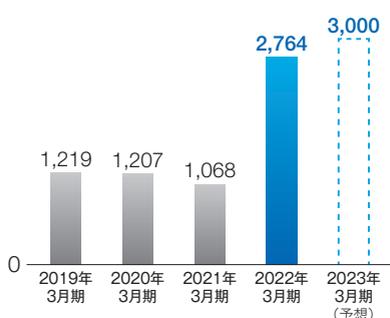
連結売上高

(単位:百万円)



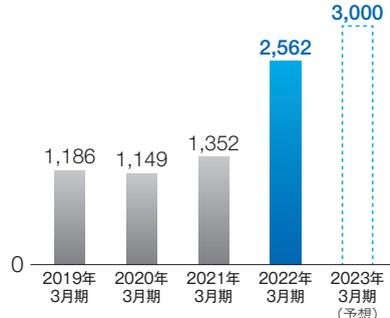
連結営業利益

(単位:百万円)



連結経常利益

(単位:百万円)



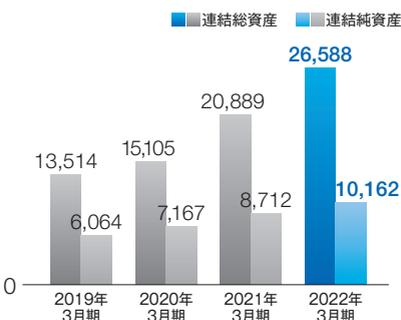
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



連結総資産 / 連結純資産

(単位:百万円)



自己資本比率

(単位:%)



セグメント別の状況

先端医療事業

5.5%

売上高 858百万円
営業損失 439百万円

- COVID-19ワクチン開発において臨床試験実施に向けた準備を推進
- iPS細胞培養上清液を原料とした自社ブランド化粧品の販売およびOEM(受託製造)を促進

CRO事業

30.7%

売上高 4,815百万円
営業利益 378百万円

- オーストラリアの臨床試験実施施設の新規受託が拡大し海外事業がさらに伸長
- 国内の臨床試験実施施設とグループの開発業務受託機関との連携によるワンストップ臨床試験支援体制の構築を促進

SMO事業

57.2%

売上高 8,979百万円
営業利益 4,083百万円

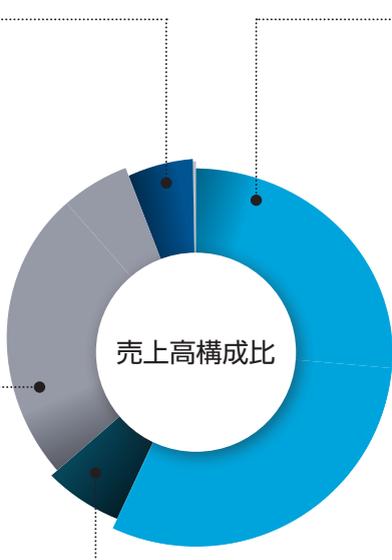
- がんセンターや大学病院等の基幹病院との提携が引き続き拡大
- 新規に受託した大型案件が順調に進捗したことが業績に寄与し、セグメント売上高49.5%増

メディカルサポート事業

6.5%

売上高 1,024百万円
営業利益 221百万円

- クリニックモール事業が堅調に推移
- グループの各事業の推進・拡大のため施設整備等をサポート



先端医療事業

先端医療事業を推進する㈱IDファーマでは、遺伝子治療や再生医療等の実用化に向けて、医薬品や医療技術等の研究・開発に取り組んでおり、ベクター技術を用いた遺伝子治療製剤やワクチン等の開発を推進しています。また、先端医療技術を化粧品等に応用した新製品の研究・開発やOEM(Original Equipment Manufacturing: 他社ブランド製品の受託製造)を行っています。

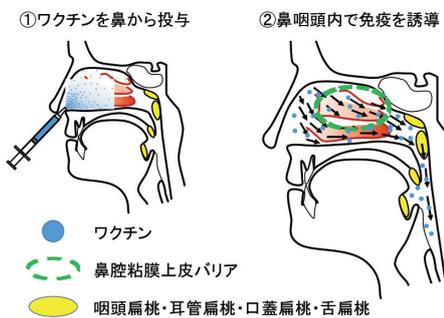
事業
ビジョン

Science×Future

独創の技術と自由な発想で、人々に新しい希望を創出する。

基盤技術であるセンドライウイルス(SeV)ベクターを用いた新型コロナウイルスのワクチンの開発において、経鼻接種によるウイルスベクターワクチンの実用化を目指し、臨床試験の実施に向けた準備を推進しています。また、各技術の知的財産権の確立を進めており、SeVを用いた抗結核菌ワクチンの特許登録国の拡大やCRISPR-Cas9の課題を克服する安全な新規ゲノム編集技術の日本における特許登録等を実施いたしました。さらに、iPS細胞培養上清液を化粧品原料として使用した「iPSスーパーネイタントアプリケーション®」の販売を強化するとともに、同原料を用いたOEM(受託製造)の拡大にも取り組んでいます。

<経鼻接種による免疫誘導のイメージ図>



[Gizurason, S.: Biol. Pharm. Bull., 38, 497 (2015).
草野等:生物工学, 98, 590(2020). より引用改変]

CRO事業

CRO(Contract Research Organization: 開発業務受託機関)は、医薬品・医療機器・再生医療等製品の治験を含む臨床研究等に関する製薬企業やアカデミア等の業務を代行・支援する受託機関です。当社グループのCRO事業では、国内およびオーストラリアに保有する臨床試験実施施設における早期段階の医薬品開発支援およびアカデミアを中心とした医師主導治験や臨床研究の支援ならびに先端医療事業と連携した先端医療開発の支援を行っています。

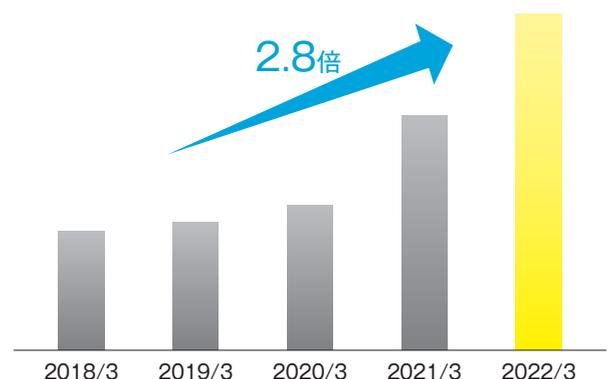
事業
ビジョン

Fact Management×Future

難病や希少疾患を克服する、新薬の研究・開発の原動力となる。

オーストラリアにて保有する臨床試験実施施設において、米国およびアジア地域の製薬企業からの新規試験の受託が拡大し、海外CRO事業の本格化が進んでおります。国内の開発業務支援においては、統計解析分野の強みをさらに強化し、バイオ統計を主軸とした臨床試験のコンサルティングやライティングの体制整備を進めています。また、国内の臨床試験実施施設において、新規試験の受託が拡大するとともに、グループ開発業務受託機関との連携によるワンストップでの臨床試験支援体制の構築を進めており、グループシナジーを活かしたCRO事業の拡大に取り組んでいます。

海外CRO事業の売上高推移



のために。』のブランドプロミスのもと、人々の未来が希望と安心そして健康で満ちあふれたものとなるように「先端医療事業」

再生医療・遺伝子技術の研究開発・製造販売

-  ID Pharma
-  ICELLEAP
-  In

臨床試験実施 医療機関の支援

-  I'rom
-  I'rom EC
-  I'rom CS
-  I'rom NA
-  aSBo



国内外製薬企業の 臨床試験支援

-  I'cros
-  CMAX Japan
-  CMAX Clinical Research

クリニックモール等の 開設・運営

-  I'rom PM

ブランドプロミス

憂いなき未来のために。

人はいつの時も、かつて経験したことのない未曾有の事態の中を生きています。

確かな予測の立たない日々であるからこそ、私たちは、人々から一縷(いちる)の望みを託される存在でありたい。

アイロムグループは先覚の技術による創造と自由で豊かな発想により、希望と安心に満ちた明日のためにあらゆる可能性を追求していきます。

ブランドシンボル



I'ROM GROUP

社名の頭文字である「I」と人を指す「i」をモチーフにした象徴的なシンボルは、アイロムグループを中心とした未来への成長や進化を躍動的に表現しています。

ブランドプロミス同様、希望に満ちた明日への想いをデザインに込めました。

「SMO事業」「CRO事業」「メディカルサポート事業」の4つの事業を推進しています。

SMO事業

SMO(Site Management Organization：治験施設支援機関)は、医療機関から委託を受け、関連法規に基づき適正かつ円滑な臨床試験が迅速に実施できるよう様々な業務を支援しています。国内SMOのパイオニアとして、アンメットメディカルニーズの高いがんや難治性疾患の臨床試験の増加や多様化する臨床試験の手法など、医薬品開発を取り巻く環境の変化に対応した支援を行っています。

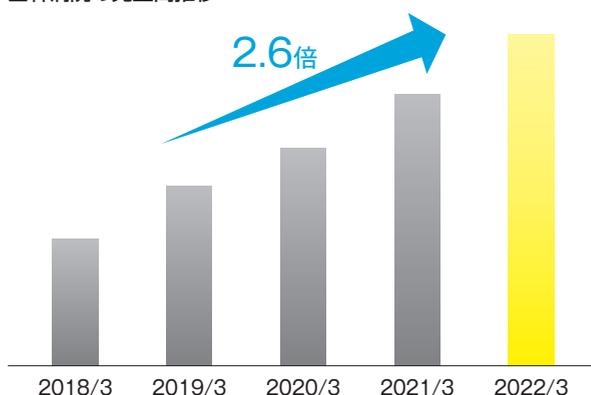
事業
ビジョン

Site Management×Future

人々の健やかな願いを叶える、新しい医薬品づくりの一翼を担う。

医薬品開発ニーズの高いがん・難治性疾患の臨床試験が引き続き増加しており、がんセンターや大学病院等の基幹病院との提携を拡大し、支援実績が伸張しています。国際共同治験の増加により開発期間の短縮化が進み、複雑化かつ高度化する臨床試験に対応するため、より一層の人材教育の徹底を図るとともに、グループSMO各社の業務プロセスの一層の標準化・効率化に取り組み、グローバルスタンダードに準じた高品質な支援体制の構築を推進しています。

基幹病院の売上高推移



メディカルサポート事業

メディカルサポート事業では、開発事業者や不動産会社などと連携して、駅からのアクセスや地域の医療需要など、様々な条件を満たすクリニックモールを開設しています。また、開設後の運営管理にも力を入れており、クリニックモールでの開業を検討する医師の開業支援を手がけるとともに、開業後の医療機関に臨床試験を紹介するなど、その経営を多角的に支援しています。

事業
ビジョン

Property×Future

地域と住まう人々に、質の高い医療とヘルスケアの生活基盤を提供する。

メディカルサポート事業においては、引き続きクリニックモール等の運営により安定した収益の確保に努めます。また、臨床試験実施施設の整備や開業支援による臨床試験実施施設の確保、先端医療事業におけるワクチン製造施設の建設支援など、グループ各社の事業の推進・拡大をサポートしていきます。



会社概要

会社名	株式会社アイロムグループ
設立年月日	1997年(平成9年)4月9日
資本金	3,879百万円
本社所在地	〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム
連結従業員数	981人(臨時従業員を含む)
連結子会社	株式会社アイロム 株式会社アイロムEC 株式会社アイクロス CMAX Clinical Research Pty Ltd 株式会社IDファーマ 株式会社アイロムPM (他16社)

経営体制 (2022年6月28日現在)

代表取締役	森 豊隆	取締役	蛭川なおみ
取締役	渡辺 潔	社外取締役	前田 豊司
取締役	原 寿哉	社外取締役	小駒 皆子
取締役	犬飼 広明	監査等委員	
取締役	松島 正明	取締役	桑原 秀次
取締役	朱 亜峰	社外取締役	佐々木秀次
取締役	小島 修一	社外取締役	高橋 壮志

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。 https://www.iromgroup.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式の状況

発行可能株式総数	37,281,680株
発行済株式の総数	12,306,665株
株主数	12,494名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
森 豊隆	4,754,250	39.37
森 利恵	825,000	6.83
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	775,200	6.42
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 株式会社	234,900	1.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	114,100	0.94
渡邊 定雄	91,500	0.76
森 龍介	75,000	0.62
櫻井 裕子	72,900	0.60
楽天証券株式会社	70,300	0.58
GMOクリック証券株式会社	56,800	0.47

(注) 持株比率は、自己株式(230,245株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布



個人その他	12,278名	70.93%
その他国内法人	97名	1.53%
金融機関	10名	8.00%
証券会社	31名	4.98%
外国人	77名	12.69%
自己株式	1名	1.87%

※比率は、各株主が所有する株式数の割合です。

ホームページのご案内

当社のホームページでは、各事業のより詳しい内容や当社の最新の情報を掲載しています。また、IR情報のページでは、財務ハイライトや開示書類をご確認いただけますので、是非一度ご覧ください。

<https://www.iromgroup.co.jp/>

アイロムグループ

検索



● 当社ホームページ

IR情報のページ
クリック!



● IR情報